

CASE
STUDY*
MBC

“コンテンツの生産性と管理の
効率性が向上し、
ユーザの利便性を改善して、
サイトへのアクセス性と価値を
高めることができました。”



Jonghun Kim, a senior manager

MBC Newsサイト
全面改編プロジェクト

導入製品

コンテンツ管理システム
ICS
(I-ON Content Server)

企業情報

会社名: MBC
設立年月日: 1961年2月21日
事業内容: 放送、文化サービス業
紹介: 全国17つの地域系列社を通して
全国ネットワークを構成している。
現在全国地上波のTVチャンネル1つ、
ラジオチャンネル3つ、ケーブルチャンネル
5つ、衛星チャンネル5つ、そしてDMB
チャンネル4つを運営するマルチメディ
アグループ

インタビュー日

2016年3月

最近、メディア側の雰囲気は生産されたニュースの中で、ユーザのデータ分析を通して好感度の高いコンテンツを戦略的に露出し、これらのソーシャルを通じた流通までも考慮しているため、これを後押しする適切なプラットフォームを揃えることを希望している。

それに合わせてMBCはユーザを分析するためのデータを連動して、より価値のある記事を選別し、それを様々なメディアへのサービスを反映するために、大容量データの運営およびウェブサービスの運営に最適なシステムであるI-ON Communicationsの'ICS'(I-ON Content Server)を導入し、MBCのニュースサイトとアプリの全面改編作業を行った。

他システム(統計及び個人化サービス)との連携性の考慮及びユーザが要求するコンテンツの識別を通して価値の高い記事データの露出頻度を増やし、ユーザの参加とソーシャルへの流通まで容易にできるようにシステムを改善した。

その結果、コンテンツの生産性と管理の効率性が大きく向上し、生産、管理、流通システム環境を改善して、個々人のニーズに合わせたコンテンツの配置でサイトへのアクセス性と価値を高めた。

今からMBCデジタル技術局の技術研究所のキム様に'MBC newsサイトの全面再編プロジェクト'の背景及び目標と'ICS'(I-ON Content Server)を導入した理由とその効果、そしてプロジェクトを終えた感想について詳しく聞いてみた。



MBC news page

■ プロジェクトの背景および目標

“ICS6の柔軟なインタフェースを通して他システム
(統計/個人化)と連動し、
もっと価値のある記事コンテンツの確保と
関連サービスを提供することが目標”

従来ニュースを配布するところがいくつかありましたが、それらを全部人の手によって手動で処理していたため、時間的・人的リソースがたくさん所要されました。そのため、ICS6を通して記事コンテンツがMBC資産としてもっと体系的かつ効率的で管理されてほしいことと、外部ポータル社から提供される記事についても柔軟に連動され、より価値のある記事がサービスされてほしいです。

■ 導入の理由

“デジタル資源を効率的に管理できるだけでなく、
コンテンツ管理に関する構造化された情報を
簡単に得られるため、導入を決定”

数多いコンテンツ管理システムの中でI-ON Communicationsの‘ICS’(I-ON Content Server)を導入した理由は、外部システムとの連動インタフェースの柔軟性、新しい記事及びアップデートされた記事の自動配信管理機能の安全性、フロントに提供されるテンプレートの迅速な製作利便性といった差別化された機能を提供するため、デジタル資源を効率的に管理できるだけでなく、コンテンツ管理に関する構造化された情報を簡単に得られるため、導入を決定しました。

■ 導入後の効果

“コンテンツの生産性と管理の効率性が向上し、
ユーザの利便性を改善して
サイトへのアクセス性と価値を高めることができた。”

ICS'(I-ON Content Server)の導入したことで、コンテンツの生産性と管理の効率性が向上し、生産、管理、流通システム環境を改善してユーザの利便性が向上されました。また個人化された記事のキュレーションサービス環境を構築し、ニュースサービス戦略とマーケティングに活用可能となりました。

それによって、ニュースサイトの訪問数が増加し、流入したユーザが一つ以上の記事に対して消費する時間も増加しました。またサイト内でユーザの能動的な反応も持続的に増加しています。

■ 感想および今後の計画

“予測できなかった様々な難関と障害物にも、
いつも最適な案を出して危機を克服していく
I-ON Communicationsに深く感動した。”

当プロジェクトの最終目標であるニュース記事コンテンツ管理者の利便性の向上と、もっと価値のある記事の生産に当たり、関連開発項目を処理する中で、予測できなかった様々な難関と障害物がありましたが、そのたびに、いつも最適な案を出して危機を克服するI-ON Communicationsに深く感動しました。

その努力と汗のおかげで、オープン以降、安定的なサービスを提供できたと思います。今回の事業をきっかけにこれからも言論社の特化された製品の活性化と高度化を期待しています。